

平昌冬季オリンピック・パラリンピックの開催が迫りました。「オリンピック」は、いつの時代も、子どもたちの憧れの的。テレビがまだ無い時代、ラジオが伝える実況放送に胸躍らせ、興奮し



渡部 和彦
(運動・スポーツ生理学)

オリンピックと子どもたち



スキージャンプの人形を用いて行ったV字姿勢の実験風景(IOCスポーツ科学教育プログラムより)

の種目は平昌オリンピックで日本選手の活躍が大いに期待されます。テレビで滑りに注目すると、選手は「かかと」が上がる靴で滑っています。フィギュアスケートやアイスホッケーとは違います。なぜで

しょう。この「魔法の靴」は、長野オリンピックから広まりました。その利点については、「IOCスポーツ科学教育プロジェクト」の資料が教えてくれます。

実は、子どもたちに、運動・スポーツの理解を「科学的視点」でとの願いから、IOC医事委員会(委員長・故プリンス・メロッド・IOC副会長)の支持を得て、新しいプロジェクトを始めました(広島大主導でビデオとパネルを作成)。パネルは、競技会場と長野市内の小・中学

で聴いた記憶は今でも鮮明です。さて、発育期の子どもへのスポーツ指導には、心身の成長段階に応じた配慮が求められます。また、子どもたちにも分かる言葉や方法で、技のポイントや動きの合理

性を学ばせることが重要です。つまり科学的合理性を体験的に学ぶ機会でもあり、そこに、教育的価値が生まれます。

スピードスケートの「新技術」について、動きの合理性の視点で見てください。

「スポーツ科学」の目を育てたい

校で巡回展示しました。28枚のパネルには、「子どもと遊び」なぜV字飛行は遠くまで飛べるのか、「ドーピングって何」などのテーマが含まれます。一線で活躍する研究者による解説です。現在、ネットですべてが検索できます。日本語の他に、英語、中国語、韓国語もあります。インターネットで「IOCスポーツ科学教育」で検索してください。お子さんと一緒に楽しんでみてはいかがでしょうか。

広島大学マスターズは、広島大学を退職した教職員で組織しています。市民を対象にした講座も行っています。
【問い合わせ】
kazuwp@hiroshima-u.ac.jp(渡部)